

 SEKIGUMI, Inc
株式会社関組
環境経営レポート
Environmental Report

2023 年度 第 52期

(対象期間： 2023 年9月1日～ 2024 年8月31日)

発行日： 2024年10月10日



目 次

項 目	ページ
環境経営方針	2
組織の概要	3
事業・製品の紹介	3
環境経営組織図及び役割・責任・権限表	4
主な環境負荷の実績	5
環境経営目標及びその実績	5
環境経営計画の取組結果とその評価	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟等の有無	8
緊急事態対応訓練	8
代表者による全体の評価と見直し・指示	9
これまでの環境活動の紹介	9

【基本理念】

21世紀は「環境の世紀」と呼ばれて久しいものがあります。

私ども(株)関組は、創業来和歌山城下の麓に事業拠点を構え、道路舗装工事を主に、一貫して総合建工事設業を展開、地域社会の基盤整備とその利便性の向上や充実を担ってきたところです。

今後も各種建設工事の品質管理を徹底し、社員の技術力及び職場環境の向上を目指し、環境に配慮した施工を推進するとともに環境関連法の遵守と継続的な改善活動に取り組み、地球温暖化問題にも自主的・積極的に取り組んでまいります。



環境経営への行動指針

1. 環境への取組みを徹底するため、従業員の教育・訓練を実施し、継続的改善を図ると共に、環境方針の周知にも努めます。
2. 環境関連法を遵守し、これらの情報の公開を図り、地域社会との調和に努めることを誓約します。
3. 具体的な環境負荷軽減のため、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、総排出量、化学物質排出量、グリーン購入及び製品・サービスに関する対応の各項目に積極的に取り組みます。
4. 建設副産物のリサイクル率の向上に努めます。
3R活動〔再生抑制・再使用・再生利用〕を推進すると共に、その他業界固有の環境テーマにも自主的に取り組みます。
5. 水使用量の削減に努めます。
6. 環境に配慮した工事に努めます。
(無事故、安全工事、効率化：作業・材料の無駄をなくす)
7. 地域や関係団体の環境活動に積極的に参加します。
8. 建設工事における騒音・振動・粉塵防止に努めます。



制定日：2011年1月1日

改定日：2023年9月1日

代表取締役社長 関 儀平

名称及び代表者名

株式会社関組 代表取締役社長 関 儀平

所在地 〒641-0035 和歌山県和歌山市関戸4丁目3番92号
創業

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 営業部長 高瀬 日出海 TEL : 073-444-0361

事業内容：総合建設業

- ・道路舗装工事及び、一般土木工事の設計、施工並びに工事監理

建設業許可 和歌山県知事許可(特-3) 第360号

土木工事業/建築工事業/土木工事業/とび・土工工事業/石工事業/屋根工事業
タイル・れんが・ブロック工事業/鋼構造物工事業/舗装工事業/しゅんせつ工事業
塗装工事業/防水工事業/内装仕上工事業/水道施設工事業/左官工事業
鉄筋工事業/板金工事業/ガラス工事業/熱断縁工事業/建具工事業/解体工事業

和歌山県知事許可(特-3) 第360号

造園工事業/管工事業

所属・加盟団体 (一社)和歌山県建設業協会、(一社)和歌山市建設業協会
(一社)日本アスファルト協会、(一社)和歌山県舗装業協会
和歌山市管工事協同組合

事業の規模

資本金 4,000 万円

売上高 (2022年度) 68,300 万円

従業員 16 名

延べ床面積 153 m²

事業年度 9 月 1 日 ~ 8 月 31 日

保有機械 ブルドーザー1台、モーターグレーダー1台、マカダムローラー1台、タイヤローラー1台
タイヤショベル1台、パワーショベル1台、アスファルトフィニッシャー1台



□事業の紹介

土木工事



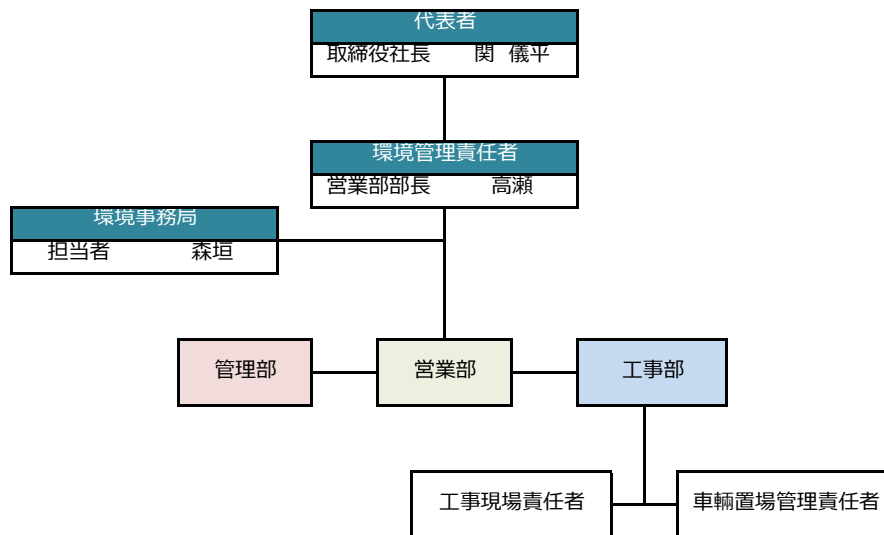
舗装工事



塗装工事



実施体制
(環境経営組織及び役割・責任・権限)



	役割・責任・権限
代表者（社長）	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境目標・環境活動計画書及び環境活動レポートの作成・確認・公開 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・従業員に対する教育訓練の策定と実施 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成・評価の実施 ・環境活動の実績集計 ・メンテナンス ・文書管理、運用管理
工事部	・工事部に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施 ・下請業者への環境配慮を認識させる。
全従業員	・環境活動計画の実施 ・環境活動計画の実施問題点の是正処置 ・自主的、積極的に参加



主な環境負荷の実績

項 目	単位	2021年度	2022年度	2023年度
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	61,377	51,699	56,547
Scope1（化石燃料）	kg-CO ₂	59,492	49,905	53,585
Scope2（電力）	kg-CO ₂	1,885	1,794	2,962
廃棄物排出量				
一般廃棄物排出量	kg	144	118	108
産業廃棄物排出量	kg	5,834	5,795	4,987
水使用量	m ³	93	94	92
※電力の二酸化炭素排出係数（調整後）		0.311		
※関西電力【A0272】 R3年度実績 R5.1.24公表を使用				

kg-CO₂/kWh

環境経営目標及びその実績

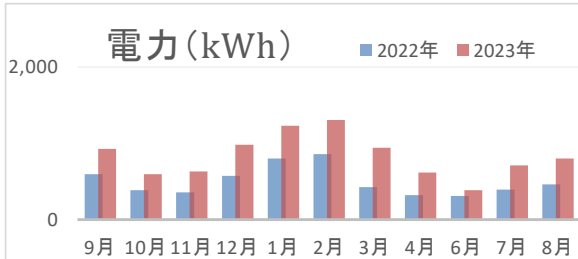
年 度		2022年	2023年度		評	2024年度	2025年度
項 目		（基準値）	（目標）	（実績）	価	（目標）	（目標）
電力による二酸化炭素削減	kWh	5,767	5,709	9,524	×	5,536	5,479
	基準年度比	-	99%	167%		96%	95%
	kg-CO ₂	1,794	1,776	2,962	×	1,722	1,704
	基準年度比	-	99%	167%		96%	95%
自動車燃料による二酸化炭素削減	kg-CO ₂	48,546	48,060	53,585	×	47,089	46,604
	基準年度比		99%	110%		97%	96%
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO ₂	50,339	49,836	56,547		48,811	48,308
一般廃棄物の削減	kg	118	117	108	○	117	117
	基準年度比		99%	91%		99%	99%
産業廃棄物の削減	kg	5,795	5,737	4,987	○	5,737	5,737
	基準年度比		99%	86%		0.99	0.99
水道水の削減	m ³	94	93	92	○	86	85
	基準年度比		99%	98%		92%	90%
環境に配慮した工事の推進	行動目標（次項による）						
課題を解決しチャンスを活かす取組	行動目標（次項による）						

環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の計画

数値目標：○達成 ×未達成

活動：○よくできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	取組結果とその評価
電力による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	酷暑によりエアコンの使用期間が長くなり目標達成には至らなかった。再度目標の見直しを行うとともに適正な設定温度の周知徹底する。
・空調温度の適正化(冷房28℃、暖房20℃)	△	
・COOLBIZ・WARMBIZ	○	
・作業・業務の効率化	○	
・不要時の電気OFF	○	
・サーキュレーターの併用	○	

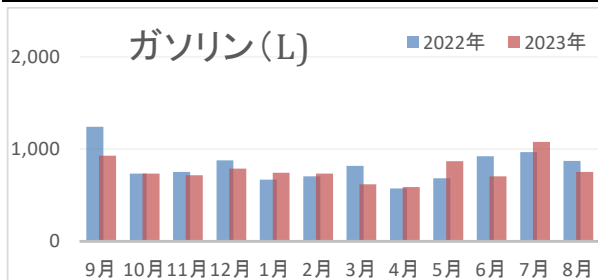


取組紹介欄

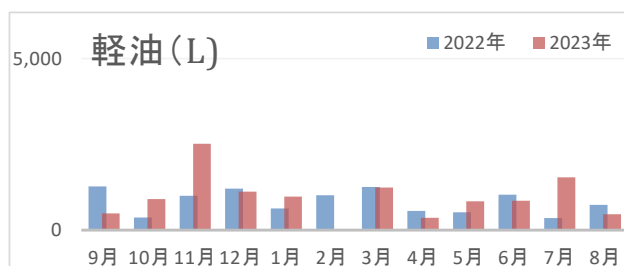


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	597	387	356	574	800	860	426	322	309	309	393	463
2023年	928	595	632	980	1,229	1,307	943	619	390	388	710	803

自動車燃料による二酸化炭素削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	×	社用車を使用する社員が増えた。(ダンプ車・道具車使用頻度)又、車両の変更もあり基準年度が7年前と古い事から基準年(2022年)とし、目標値を変更した。月別では達成できている月があるが年間では未達となった。まだ経過観察が必要である
・不要なアイドリングの禁止	○	
・適正な積算量	○	

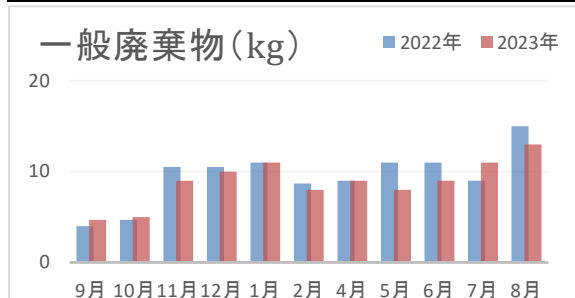


	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	1,241	736	751	878	670	706	819	574	685	922	967	873
2023年	927	734	718	787	742	736	619	589	869	705	1,077	753



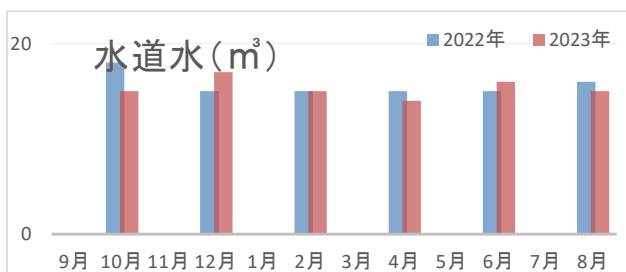
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	1,272	370	999	1,211	629	1,014	1,254	556	521	1,034	350	734
2023年	490	906	2,517	1,123	974	0	1,244	357	842	859	1,540	466

一般廃棄物の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	裏紙の使用で紙の廃棄物の削減に努めた。又、FAXをパソコンから直接送信するダイレクト送信を行い印字枚数の削減に努めた。
・ 帳票の見直しによる印刷物の削減	○	
・ 分別の徹底	○	
・ コピー用紙の裏紙使用	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	4	5	11	11	11	9	12	9	11	11	9	15
2023年	5	5	9	10	11	8	10	9	8	9	11	13

水道水の削減	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
数値目標	○	トイレや給湯室に節水の呼びかけステッカーを貼り、節水に取り組んでいるが使用用途は主に生活用水のためこれ以上の節水は厳しい状況であるため現状維持に努める
・ 節水シールの貼付け	○	
・ 社内の洗い物は時間を定めて洗う	○	



	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
2022年	0	18	0	15	0	15	0	15	0	15	0	16
2023年	0	15	0	17	0	15	0	14	0	16	0	15

環境に配慮した工事の推進	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組内容
・ 廃棄物の適正処理の推進	○	環境に配慮した重機の使用。騒音・振動の防止の徹底。リサイクル製品の使用。産業廃棄物の適正処理の徹底
・ 騒音・振動の防止	○	
・ リサイクル製品の使用	○	

取組紹介欄



課題を解決しチャンスを活かす取組	達成状況	取組結果とその評価、次年度の取組計画
・ 外部講習会への参加	○	技術力向上の為、講習会への参加は都度行っている。技術力を向上し継承していくことで生産性の向上へと繋げたい。
・ インターシップ生徒の受入れ	○	

取組紹介欄



事業所の取組紹介



昭和



平成



令和

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般廃棄物及び産業廃棄物の保管・排出
建設リサイクル法	建設副産物
騒音・振動規制法	空気圧縮機、送風機
消防法(危険物)	シンナーの保管
オフロード法	特殊自動車の排ガス規制

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。

なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

□外部からの環境上の苦情・要請等

なし

確認日：2024年8月31日

緊急事態対応の試行・訓練

緊急事態の想定： 災害時の訓練	■参加者： 全社員	11 災害時の対応 （火災・地震・水害）	4 災害時の対応 （火災・地震・水害）
■実施日 2024年6月27日			
■実施内容： ☒ 通報訓練 ☒ 消火訓練 ☒ 避難訓練	■評価： 手順書の変更の必要性 ☐ あり ☒ なし		
■実施状況の様子			
 AED使用訓練		 非常時に担架の作成・使用訓練	
			

代表取締役 関 儀平

実施日：2024年9月1日

基準年度が7年前と古く現状に合わない目標となっていた為、基準年度を2022年度とし、目標値の変更を行った。
また、環境に配慮した工事の推進、課題を解決しチャンスを活かす取組み、技術力の向上を追加した。
適正な目標値を設定したことにより社員の意識も変わり達成できたものも多い。ただし電力量に関しては酷暑の影響によりエアコンの使用期間が長くなり使用量の増加となった。室内温度を下げすぎる等の改善の余地はあるが、無理のない範囲で適正温度に近づけていきたい。自動車燃料も新たな目標設定が必要である。
また、産業廃棄物は仕事内容によって目標値より削減するのが難しい場合も多い。適切な業者へ処分を依頼しリサイクルに努めリサイクル率100%を継続するとともにリサイクル製品を使用することにより環境配慮に努める。

<指示事項>

環境経営方針	☒ 変更なし	☐ 変更あり
環境経営目標・計画	☐ 変更なし	☒ 変更あり
実施体制他	☒ 変更なし	☐ 変更あり

これまでの環境活動の紹介



浜の宮クリーンアップ



長保寺 文化財保全ボランティア



海ごみゼロ 和歌の浦 クリーンアップ



環境に配慮した建設機械の使用

